

和の輪

コンセプト：木と畳で生まれるつながり

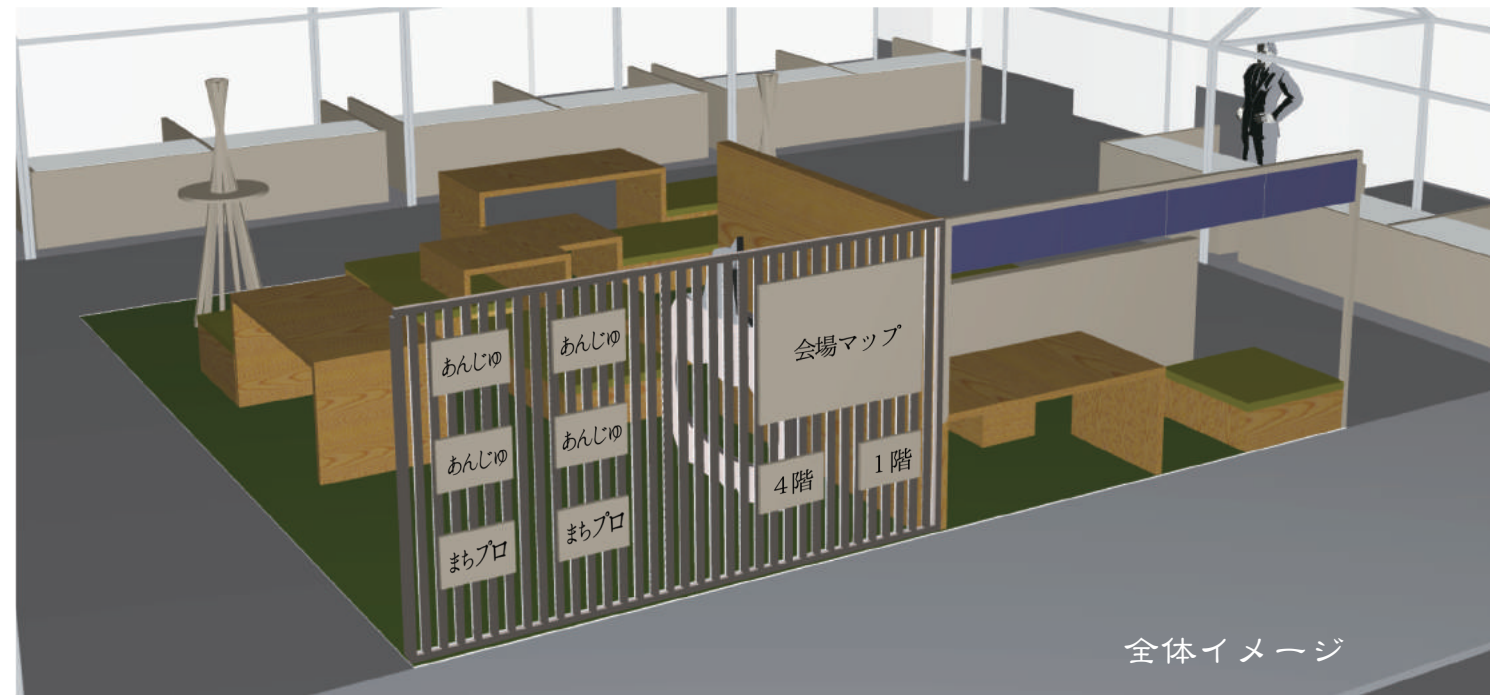
「木材」と「畳」を使って、

- ・ 家のような居心地の良い広場！
- ・ 住宅資材の新しい使い方！
- ・ みんなが集まる落ち着いた空間

を作る！

マルシェで買ったご飯を食べながら、落ち着いて話をしたり、写真を撮ってinstagramにアップしたり、地域みんなが集まってワイワイ遊んだりできる場所になる。

「木」と「畳」の「和」の空間で、みんなが楽しい「輪」の空間を！



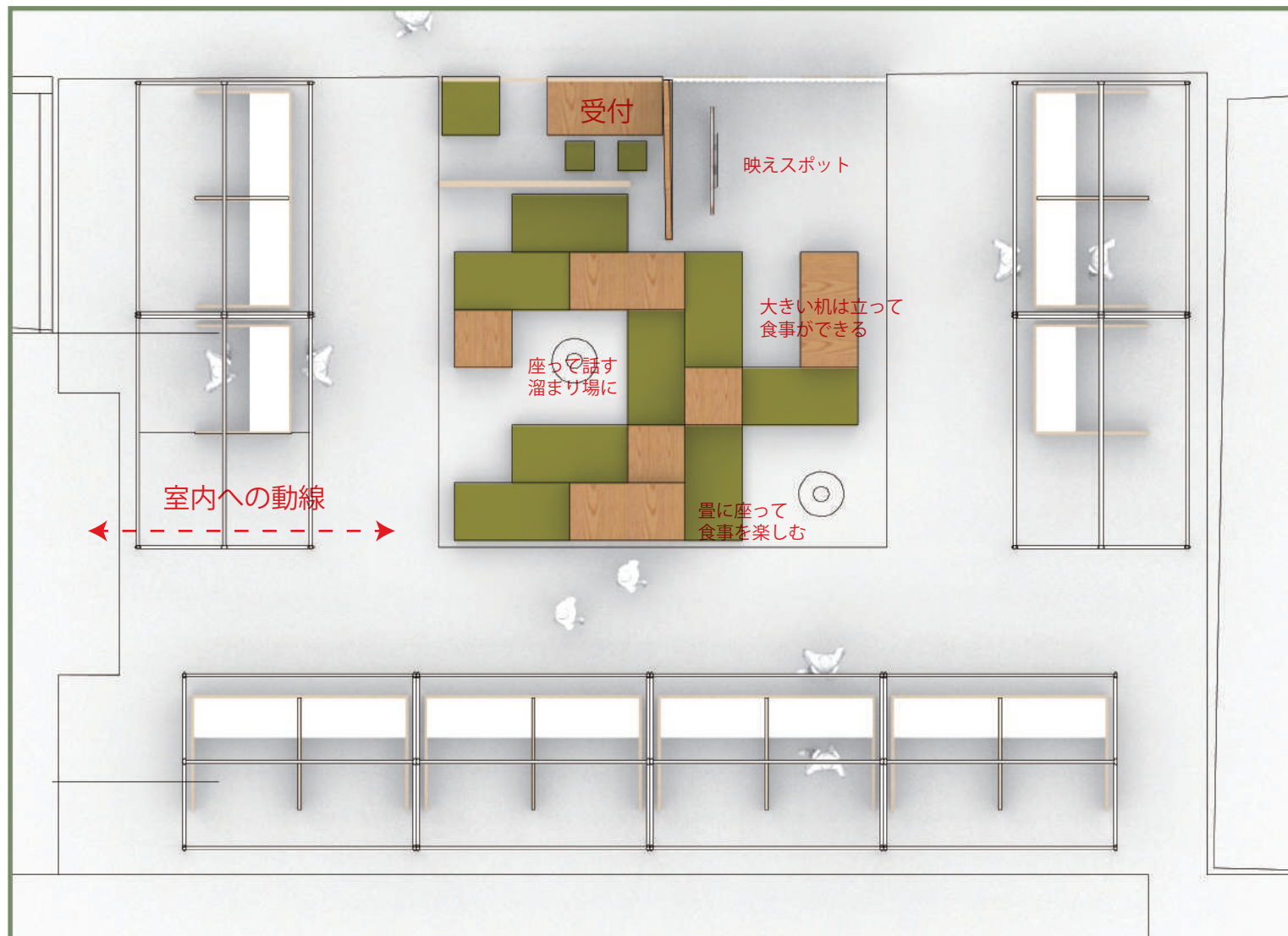
全体イメージ



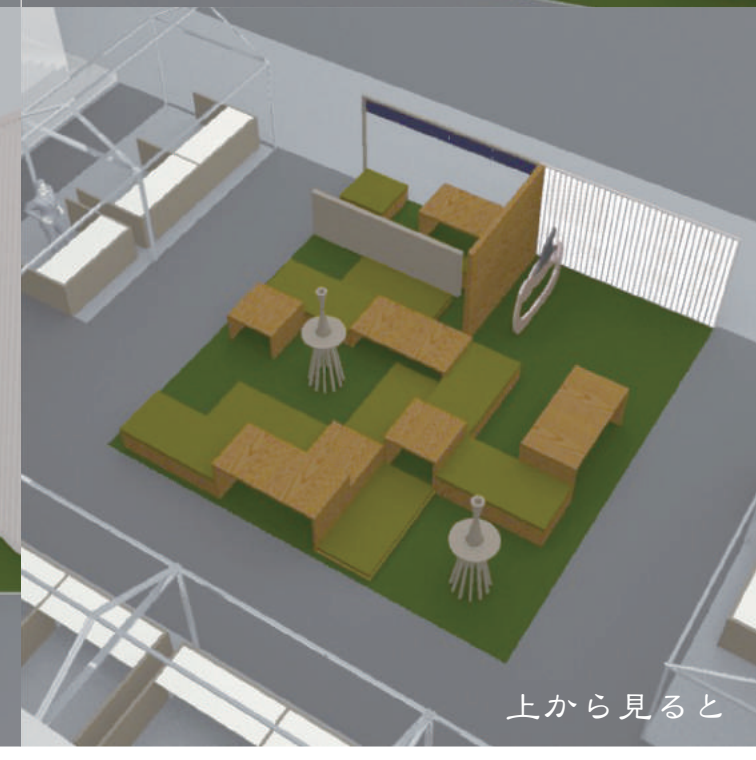
受付イメージ



オブジェクトと椅子

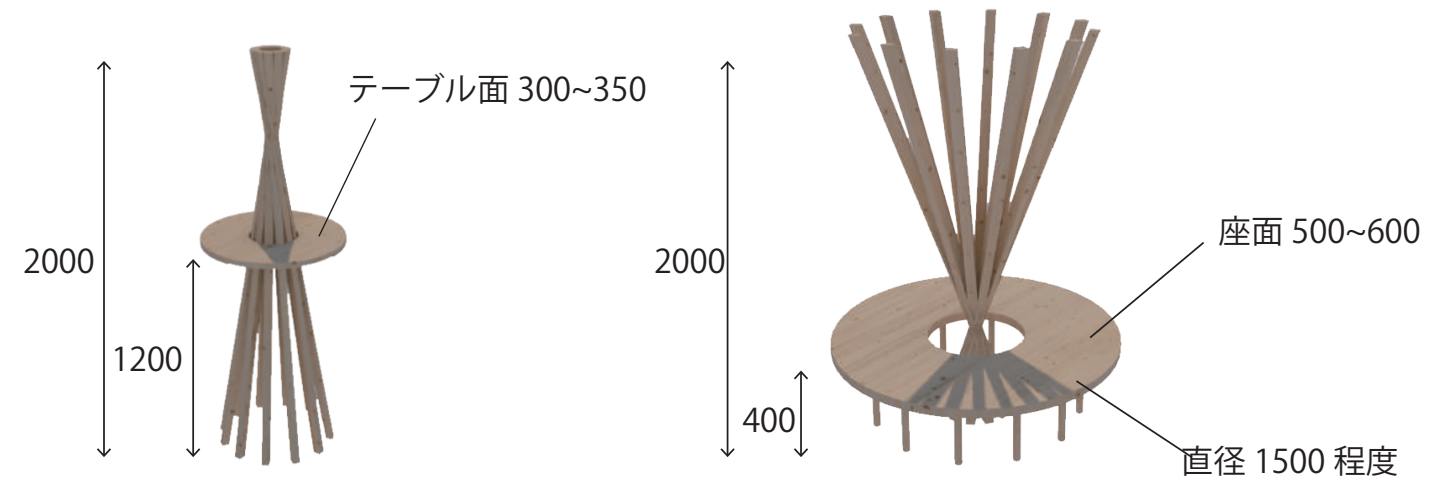
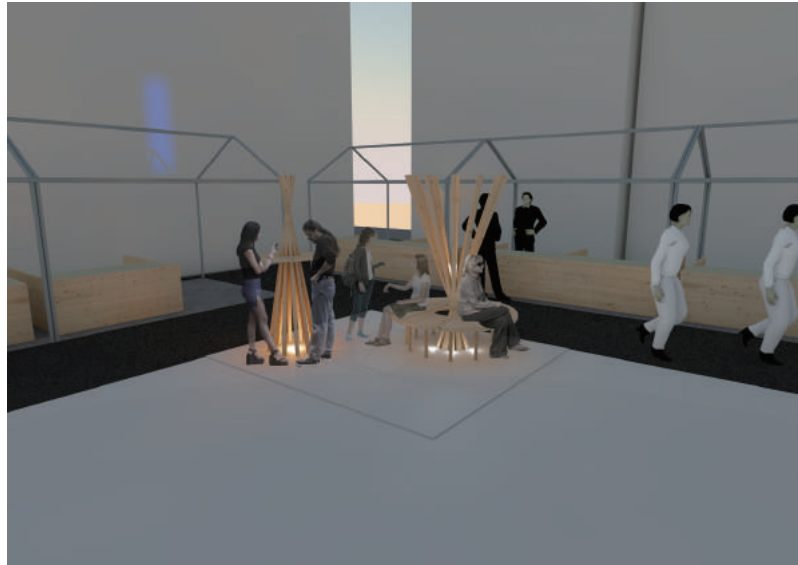


撮影スポット



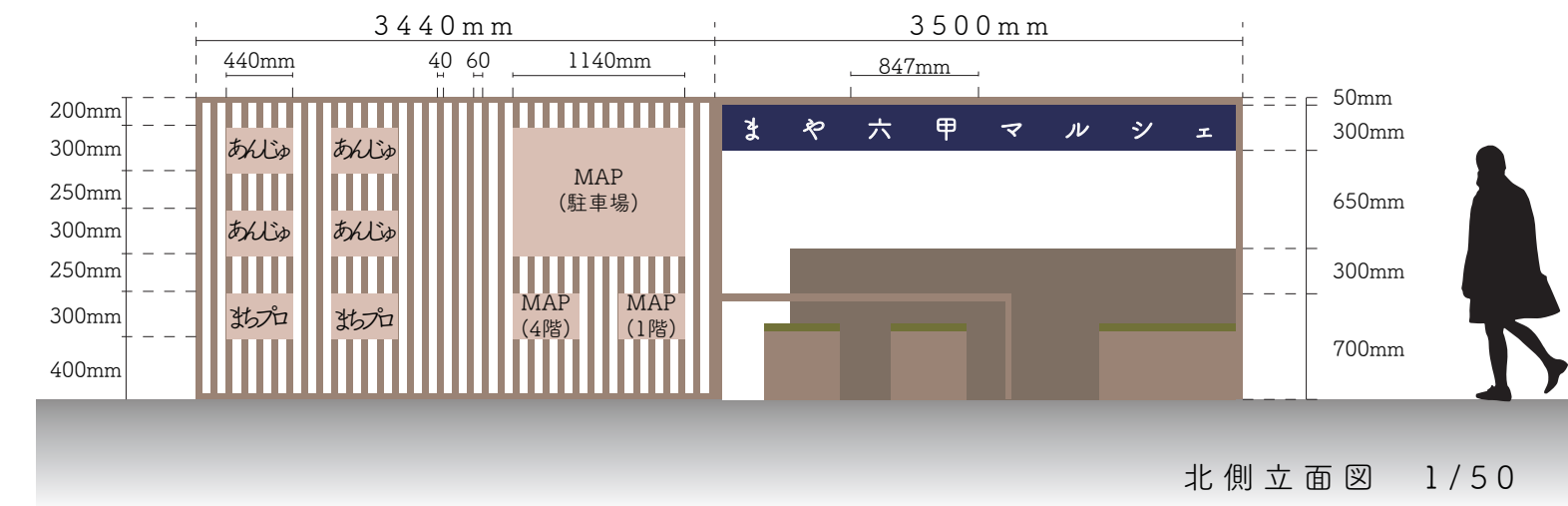
上から見ると

モニュメント



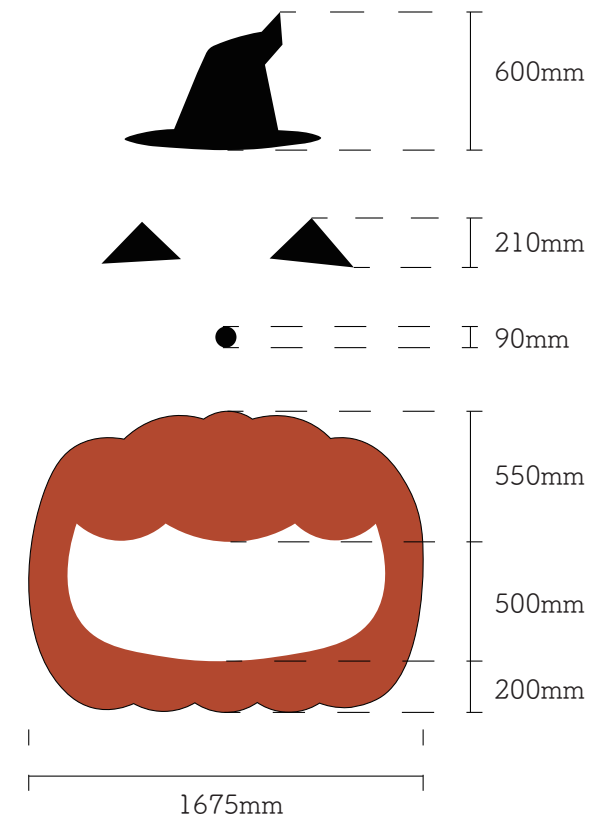
オープンスペースに立ちテーブルとベンチを設定。用途によって使い分けてもらう。束ねの構造によってできるオブジェをひっくり返してできる2種類のモニュメント。
 グリッドに対する円形テーブルであるが角地のオープンスペースであるから、柔軟なスペースとし圧迫感をなくすためにもゆとりある配置とし、広さも与える必要があったのであえて円形にしています。

受付



- ルーバー 40mm角、間は60mmで構成
- 暖簾 布を用いて、まや六甲マルシェと描く
- パネル 木の板をベースに作る
 MAP(駐車場)は濃色の木で平面図を作成
 MAP(階数)はイベント内容を羅列
 左のあんじゅ、まちプロは写真を掲載

Photo Spot



スチレンボードでパネルを作り
自由に使えるようにする

